

## VI 令和4年度「文化芸術による子供育成総合事業 出演希望調書(実演芸術)」

分野、種目(該当する分野、種目を選択してください。)

分野	音楽	種目	オーケストラ等
----	----	----	---------

申請区分(申請する区分を選択してください。)

申請区分	A区分とB区分の両方
------	------------

複数申請の有無(該当する方を選択してください。)

複数申請の有無	有
---------	---

複数の企画が採択された場合の実施体制(該当するものを選択してください。)

※複数申請の有無で【無】を選択された場合は、未記入で構いません。(グレーアウトされます。)

複数の企画が採択された場合の実施体制	公演の実施時期が重複しなければ、複数の企画を実施可能
--------------------	----------------------------

その他を選択した場合	
------------	--

## 芸術文化団体の概要

ふりがな 制作団体名	こうえきざいだんほうじん とうきょうふいるはーもにーこうきょうがくだん 公益財団法人 東京フィルハーモニー交響楽団		
代表者職・氏名	理事長 三木谷 浩史		
制作団体所在地	〒163-1408 東京都新宿区西新宿3-20-2東京オペラシティタワー8階		
電話番号	03-5353-9521	FAX番号	03-5353-9523
ふりがな 公演団体名	とうきょうふいるはーもにーこうきょうがくだん 東京フィルハーモニー交響楽団		
代表者職・氏名	理事長 三木谷 浩史		
公演団体所在地	〒 同上		
制作団体 設立年月	明治44年3月		
制作団体組織	役職員		団体構成員及び加入条件等
	別添		別添
事務体制の担当	他の業務と兼任	本事業担当者名	事業部 大谷絵梨奈
経理処理等の 監査担当の有無	有	経理責任者名	工藤真実

制作団体沿革	<p>明治43年に名古屋に発足した音楽隊を母体として、昭和13年12月に「中央交響楽団」を結成。  昭和23年4月に「東京フィルハーモニー交響楽団」となり、昭和27年12月1日に財団法人として認可を受ける。平成24年4月1日に公益財団法人へ移行。日本で最も長い100余年の歴史をもち、約140名のメンバーでシンフォニーオーケストラとオペラ等の劇場オーケストラの両機能を併せもつ日本を代表するオーケストラ。  「定期演奏会」や「午後のコンサート」「第九特別演奏会」などの主催公演の他、新国立劇場のレギュラーオーケストラとしてのオペラ・バレエ演奏、NHKや民放における放送演奏などによりホールに来場できない国内外の聴衆に音楽を提供しています。年間約400公演程の高水準の演奏活動とさまざまな教育的活動を展開し、クラシック音楽の普及に努めています。</p>			
学校等における公演実績	別添			
特別支援学校における公演実績	別添			
参考資料の有無	A	申請する演目のチラシパンフレット等	有	
		申請する演目のDVDまたはWEB公開資料	有	
		※公開資料有の場合URL	<a href="https://www.tpo.or.jp/education/bunka/index.php">https://www.tpo.or.jp/education/bunka/index.php</a>	
		※閲覧に権限が必要な場合のIDおよびパスワード	ID:	kodomoikusei03
	PW:	tokyophil100		
	Aの提出が困難な場合	今回申請する演目に近い演目で公演の様子がわかる内容のDVDまたはWEB公開資料		
		※公開資料有の場合URL		
※閲覧に権限が必要な場合のIDおよびパスワード		ID:		
PW:				

公演・ワークショップの内容

【公演団体名 東京フィルハーモニー交響楽団】

対象	<input type="radio"/>	小学生(低学年)	<input type="radio"/>	中学生
	<input type="radio"/>	小学生(中学年)		
	<input type="radio"/>	小学生(高学年)		
企画名	オーケストラ公演 《東京フィルがやってきた！》			
本公演演目 原作/作曲 脚本 演出/振付	<p>【小学校プログラム】(約85分休憩無し) ※中学校プログラムは別添 オープニング ♪ロッシニー: 歌劇『ウィリアム・テル』序曲より「スイス軍の行進」 楽器紹介(弦楽器、木管楽器、金管楽器、打楽器の紹介) ♪ロジャース: 映画『サウンド・オブ・ミュージック』より「ドレミの歌」 指揮者体験 ♪ブラームス: ハンガリー舞曲第5番より 共演① カラダで「運命」を表現しよう! ♪シャーマン兄弟: 小さな世界(共演前の準備) ♪ベートーヴェン: 交響曲第5番「運命」より第1楽章 共演② フィンランディアに歌詞をつけよう! ♪シベリウス: 交響詩「フィンランディア」 オーケストラの伴奏で学校を歌おう! ♪各校校歌 (Enc.) ♪外山雄三: 『管弦楽のためのラプソディ』より「八木節」</p>			
著作権	<input type="radio"/>	制作団体が所有	制作団体以外が所有する事項が含まれる	(制作団体以外が所有する事項が含まれる場合)許諾状況
演目概要	<p>《オープニング》 華々しいファンファーレで演奏会の幕開けを演出します。 《楽器紹介》 各楽器をソロで聴いた後、楽器群[弦・木管・金管・打楽器]の特徴を生かした曲をそれぞれ演奏。 《指揮体験》 初めての指揮体験ではご存知「運命」に挑戦 《オーケストラの魅力》 本物のオーケストラによるサウンドを間近で体感していただけます。 《共演コーナー》 みんなで作った学校オリジナルの「フィンランディア」をオーケストラの演奏と共に歌って、コンサートを締めくくります。 《アンコール》 児童にとって最も身近な歌である校歌を豪華なオーケストラアレンジで歌っていただけます。 最後はラデツキー行進曲で手拍子にて参加していただき会場が一体となり締めくくります。</p>			
演目選択理由	<p>日本の西洋音楽教育の原点ともいえるクラシック作品を中心に選曲しました。 楽器紹介や指揮体験コーナーで身近に体感して頂くなど、音楽に、より興味を持って頂けるように工夫しております。 また、美しい旋律に、日本を含め世界各国の言語(歌詞)が付けられている交響詩「フィンランディア」を用いて、児童がオリジナルの歌詞を創作、学校オリジナルの「フィンランディア」を完成することで、児童の自己表現力、共同作業によるコミュニケーション能力と協調性を育むことを目指します。</p>			
児童・生徒の共演、参加又は体験の形態	<p>・指揮者体験コーナー 各校2～3名の児童に、ブラームス: ハンガリー舞曲第5番の一部分を指揮する事により、オーケストラをとり仕切るマエストロ(指揮者)の役割を体験してもらいます。 ・ボディパーカッション 音楽の原点である打楽器を児童自身の身体で体現することで、音楽への新たな興味を促します。 ・フィンランディアに歌詞を作ろう! みんなで作ったオリジナルの歌詞をオーケストラと一緒に奏でられるよう、歌の指導を交えて最終確認します。</p>			
出演者	<p>指揮者: 円光寺雅彦、三ツ橋敬子 他 司会: 山本愛香、塚本江里子 他 管弦楽: 東京フィルハーモニー交響楽団(2管12型) ※オーケストラメンバーは別添「東京フィルハーモニー交響楽団 出演表」を参照下さい。</p>			
公演出演予定者数 (1公演あたり)	<p>出演者: 68～71 名 スタッフ: 5 名 合計: 別添 名</p>	<p>機材等 運搬方法</p>	<p>積載量: 4 t 車長: 8 m 台数: 1 台</p>	

実施に当たっての会場条件	実施条件等確認書①をご確認ください。					
会場設営の所要時間 (タイムスケジュール)の 目安	前日仕込み	無	会場設営の所要時間		2.5～3	時間程度
	到着	仕込み	本公演	内休憩	撤去	退出
	8時	8時～11時	13時～14時30分	0分	15時～16時30分	16時45分
	※本公演時間の目安は、午後1時乃至1時30分からの概ね2時限分程度です。					
児童・生徒の 参加可能人数	ワークショップ	20～400名程度まで対応可能です。(全学年対応)				
	本公演	20～400名程度まで対応可能です。(全学年対応)				
ワークショップ 実施形態及び内容	<p>≪本公演と連動した成果をあげるため、約2ヶ月前に派遣者数名が各学校へ赴きます≫</p> <p>1)ミニ・コンサート オーケストラや楽器の話などを交えながら、本物の楽器の音色や歌唱を聴いていただきます。</p> <p>2)自己表現:みんなで歌おう 音楽を通して自分を表現することを、全員合唱を行うことによって理解します。</p> <p>3)オリジナルの歌を作ろう 交響詩「フィンランディア」の一部分に学校オリジナルの歌詞を作ります。 そのための歌唱指導や発想の仕方を指導致します。</p>					
ワークショップ 実施形態の意図	<p>ワークショップでは、室内楽を鑑賞することで、音楽への理解を深めるだけでなく、ハーモニー(協調性)の大事さを学んでいただきます。</p> <p>さらに「全員合唱を行うこと」で、協調性と自己表現を理解し、オリジナルの歌を作るという総合的な学習の場を作ります。</p>					
特別支援学校での 実施における工夫点	<p>演奏時間や共演内容を学校ごとに綿密に打ち合わせさせていただき、学校の特色に合わせ、児童生徒への負担が大きくなるように留意しながら、最大の効果を生む公演を行えるよう様々な点で調整します。また、児童の皆様と積極的に交流を図ってまいります。</p>					
実施可能時期	実施可能時期スケジュール表をご確認ください。					

本事業への申請理由

【公演団体名 東京フィルハーモニー交響楽団 】

本事業への申請理由

## ①本事業に対する取り組み姿勢

2021年に開催された東京2020オリンピックを経て海外から日本文化への注目が集まる昨今、次代を担う子供たちが自国の文化に新たな理解を深め・親しみを持ちながら体験出来る公演内容を提案いたします。

2020年2月から流行し始めた新型コロナウイルス感染症の影響で、子供たちが生の文化芸術に触れ合う機会は益々減少しています。人との距離を取らなければならない「新しい生活様式」が普及するいま、「音楽」を通じて、相互の関係を捉え、自分で考え、言葉で表現し、対話などのコミュニケーションを図りながら学ぶ機会を創出します。

演奏団体としての特色を生かし、「児童生徒の発達支援」の一端を担い、学校教育での学びを更に進化させられる契機を作ります。

子供たちの心を育む「音楽芸術」は、不要不急ではなく今こそ必要不可欠です。日本の文化芸術底上げのためにも、本事業を継続して実施することが最も重要であり、本事業の目的である「次代を担う子供たちの豊かな創造力・想像力・思考力・コミュニケーション能力などを養う」ことを再認識し、新しい時代の社会に必要な資質・能力の育成を図れるような公演を目指します。

## ◆音楽普及活動・未来の聴衆育成のために

本事業の目的でもある子供たちの発想力やコミュニケーション能力の育成を図るため、児童・生徒と積極的な対話をしながら、オーケストラで使用される楽器の仕組みや演奏方法、音の大きさなどを知ること、「本物」の音楽(芸術作品)への好奇心、探究心を育むことを目指します。

## ◆ワークショップ

5名の小編成によるワークショップを行います。オーケストラの楽器や音色、クラシック音楽の成り立ちについてアプローチし、オーケストラやクラシック音楽への興味関心を高め、“音楽をやってみよう”という「主体的学び」の場となるよう構成します。

小学校ワークショップの課題である歌詞作成(音楽と言語能力の育成、言語表現)、ボディパーカッション(音楽と身体表現)では、音楽と他分野との関わりの理解の上に「オーケストラの演奏に合わせて歌う」という他者と協働しながらの音楽表現を生み出せるようにします。

中学校ワークショップでは、日本の年末の風物詩とも言えるベートーヴェン交響曲第9番で最も有名な第4楽章をドイツ語(原語)で歌唱します。第二外国語であるドイツ語を「聴き」、声に出して「読み」、「歌う」事で、他国文化への理解を深めます。

生徒が主体的に参加し、仲間と協力して取り組めるようサポートします。

## ◆本公演(コンサート)

本公演では様々な国の作曲家の音楽に触れながら、文化の違いや表現方法の違い等、世界の多様な価値を体感できるよう工夫したプログラムを取り上げます。

ワークショップの課題では、児童・生徒が協力しながら創り上げる協働的な学習体験により、創造力、発想力、思考力、コミュニケーション力を養うことを目指します。

こうしたワークショップ～本公演において、子供たち同士が「連携・協働・共有」を体験し、音楽がコミュニケーションを図る一つの手段となることの理解を促し、社会において必要な資質・能力を育み、未来の創り手となる人間形成に幅広く活用できるような深い学びの場となることを目指します。

○音楽を通して、社会に対応できる主体性、協調性、社会性を高めることを促します。

○演奏者と聴衆が空間を共有し、心を通わせた時に初めて成立する芸術＝音楽芸術である事を体感していただきます。

○オーケストラを通して、クラシック音楽がより身近に感じ、広く普及することを目指します。

②事業を効果的かつ円滑に実施するための工夫別添

## B区分で事業を実施するに当たっての工夫や実施体制

【公演団体名 東京フィルハーモニー交響楽団】

<p>B区分で事業を実施するに当たっての工夫や実施体制</p>	<p>i) B区分に申請する理由          当団は2014年から1度の採択期間延長を経て、2度のB区分採択をいただき、Aブロックを担当してまいりました。          8年にわたり、同じ地域で巡回公演事業を実施できたことで、地域ごとの特徴や特色を深く理解することに繋がり、学校や地域での信頼関係構築に役立ち、円滑なコミュニケーションを取り、B区分団体に課せられた、本事業の広報を幅広く達成いたしました。本事業の目的達成ならびに、コロナ禍で冷え込んだ全国の子供たちの文化芸術鑑賞機会を再構築するためには、地道なアプローチが必要となります。          直接的に学校や自治体等に働きかけ、成果を検証できることは、私たちが目標の一つに掲げる「オーケストラを通して、クラシック音楽がより身近に感じ、広く普及すること」へも共通します。          時代を担う子供たちが等しく芸術に触れる機会を得られるよう、尽力したい所存です。そのため、複数年度採択であるB区分を希望いたします。</p> <p>ii) 複数年にわたり同じ地域で実施する上での工夫や、公演及びワークショップの質を向上させるための工夫          ・本企画の目的は、一過性の活動で達成できるものではなく、同一地域に継続的かつ密着型の活動を行うことにより、文化芸術を身近なもの捉え、協同しながら主体的にも発信できるようになります。このような音楽の持つ力、効果を浸透させるためには複数年の時間が必要とされます。          ・「どのように学び」、「何が出来るようになるか」を、本公演の一連の流れによって完結する内容とし、より具体的に構築します。          ・児童と演奏者の積極的な交流を図り、演奏者となった動機や経験を聞くことで、「音楽家(演奏家)」が将来の職業としての選択肢の一つとなりうることを知る機会となることを目指します。  <b>◆映像作成によるアプローチ:別添</b></p> <p>iii) B区分団体が行う業務について(「6. B区分の団体のみが行う業務について」参照)の具体的な実施体制  <b>事前・事後調査</b>          担当地域の都道府県・市区町村の教育委員会の事業担当者、採択校の校長先生など継続的に訪問、もしくは密な連絡を取り合い、事業普及のために検証・分析を行います。</p> <p><b>広報活動</b>          これまで実施してきた、地域のマスメディアを巻き込んだ広報宣伝活動に加え、インターネット等の情報通信技術を活用した広報を行います。          広報宣伝活動は、可能な限り学校と協働して実施します。</p> <p>日本全国の子供たちへ広く文化芸術鑑賞が可能となるよう、学校、地域、実演団体等の架け橋となる活動をいたします。</p>
---------------------------------	--

リンク先	No.1	【公演団体名 東京フィルハーモニー交響楽団 】
項目制作団体組織	<p><b>役職員</b> [理事長] 三木谷浩史 [副理事長] 黒柳徹子 [専務理事] 石丸恭一 [常務理事] 工藤真実 [理事] 浮舟邦彦 大賀昭雄 大塚雄二郎 小山田隆 篠澤恭助 田沼千秋 寺田琢 遠山敦子 野本弘文 韓昌祐 平井康文 宮内義彦 [監事] 岩崎守康 山野政彦 [評議員] 8名 [事務局] 21名</p> <p><b>団体構成員及び加入条件等</b> 1) 団体構成員 [役員数] 26名 [団員] 133名 [団友] 50名 [事務局員] 21名</p> <p>2) 主な構成員 [名誉音楽監督] チョン・ミョンフン [首席指揮者] アンドレア・パッティストーニ [特別客演指揮者] ミハエル・ブレトニョフ [桂冠指揮者] 尾高忠明 大野和士 ダン・エッティンガー [アソシエイト コンダクター] チョン・ミン</p>	

リンク先	No.1	【公演団体名 東京フィルハーモニー交響楽団 】
学校等における公演実績	<p>◆音楽鑑賞教室 教育委員会の委託による「音楽鑑賞教室」を毎年20公演程度開催。 令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響で、コンサートホールでのオーケストラによる音楽鑑賞教室が相次いで開催中止となった。その状況において、東京都世田谷区では音楽専科の教員の皆さんの熱心な行動により、区内全61校(のべ6500名の小学5年生対象)へ室内楽で生の音楽を届ける活動を実施した。</p> <p>◆提携事業 東京都文京区、千葉県千葉市、長野県軽井沢町、新潟県長岡市との提携事業の一環として、青少年向けのワークショップ・公演を開催。</p> <p>◆子ども向け自主公演 2002年～2013年、自主事業「こども音・楽・館」を実施。新宿区、渋谷区等近隣区域の小学校において(養護学校含む)アウトリーチも行いました。</p> <p>◆文化庁巡回公演事業 平成26年度「文化芸術による子供の育成事業」にてB区分採択(5年間)を受け、北海道・北東北地域を担当。さらに令和元年度「文化芸術による子供育成総合事業」でB区分(3年間)継続採択を受け同地域を継続して担当。これまで東日本大震災の被災地域を含め、110校で公演を実施しました。B区分採択の業務である「事業の広報活動」に関しては、各地域の教育委員会等と連携、学校とも連携しながら積極的に展開し、応募団体増加へ貢献しました。また、地域・一般の方々への事業告知として、合同開催校の促し、近隣の施設(特別支援学校や老人介護施設、保育園・幼稚園等)への声掛けを採択校を通じて行ったほか、地域新聞社やテレビ局へのアプローチに力を入れ広報宣伝活動へ従事し大きな成果を挙げました。 また、C区分に関しては令和元年・2年度と採択を受け、小編成でも充実した内容を提案し、全国各地域の子供たちへ事業を展開しています。</p>	



リンク先	No.1	【公演団体名 東京フィルハーモニー交響楽団 】
特別支援学校における 公演実績	◆平成26年度「文化芸術による子供の育成事業(巡回公演事業)」にて、2校実施。 実施校:北海道白糠養護学校(釧路市)、岩手県立宮古恵風支援学校(宮古市)	
	◆平成27年度 長岡市との提携事業の一環として実施。 対象:新潟県立長岡聾学校 東京都民間オーケストラ教育プログラム「東京都内に於ける特別支援学校コンサート」 実施校:東京都立光明特別支援学校	
	◆平成28年度東京都民間オーケストラ教育プログラム「東京都内に於ける特別支援学校コンサート」 実施校:東京都立清瀬特別支援学校	
	◆平成29年度「Music Program TOKYO 特別支援学校におけるオーケストラ公演」 実施校:東京都立王子特別支援学校 長岡市との提携事業の一環として実施。 対象:長岡市立総合支援学校、長岡市立高等総合支援学校	
	◆平成30年度「Music Program TOKYO 特別支援学校におけるオーケストラ公演」 実施校:東京都立白鷺特別支援学校	
	◆令和元年度「Music Program TOKYO 特別支援学校におけるオーケストラ公演」 実施校:東京都立白鷺特別支援学校	
	◆令和2年度「Music Program TOKYO リラックス・パフォーマンス～世代、障害を越えて 楽しめるオーケストラ・コンサート～」 実施:東京文化会館・大ホール	
	◆令和2年度「子供のための文化芸術鑑賞・体験支援事業」 実施校:山梨県立盲学校、山梨県立特別支援学校桃花台学園	
	◆令和3年度「Music Program TOKYO Workshop Workshop!コンビビアル・プロジェクト 特別支援学校におけるオーケストラ公演」 実施予定校:東京都立八王子西特別支援学校、東京都立町田の丘学園山崎校舎	

リンク先	No.2	【公演団体名 東京フィルハーモニー交響楽団 】
<p>本公演演目</p> <p>原作/作曲 脚本 演出/振付</p>	<p>【小学校プログラム】(約85分休憩無し)</p> <p>オープニング ♪ロッシェニ: 歌劇『ウィリアム・テル』序曲より「スイス軍の行進」</p> <p>楽器紹介(弦楽器、木管楽器、金管楽器、打楽器の紹介) ♪ロジャース: 映画『サウンド・オブ・ミュージック』より「ドレミの歌」 指揮者体験 ♪ブラームス: ハンガリー舞曲第5番より</p> <p>共演① カラダで「運命」を表現しよう! ♪シャーマン兄弟: 小さな世界(共演前の準備) ♪ベートーヴェン: 交響曲第5番「運命」より第1楽章 共演② フィンランドに歌詞をつけよう! ♪シベリウス: 交響詩「フィンランド」</p> <p>オーケストラの伴奏で学校を歌おう! ♪各校校歌 (Enc.) ♪外山雄三: 『管弦楽のためのラプソディ』より「八木節」</p> <p>【中学校プログラム】(約90分休憩無し)</p> <p>オープニング ♪ロッシェニ: 歌劇『ウィリアム・テル』序曲より「スイス軍の行進」</p> <p>楽器紹介(弦楽器、木管楽器、金管楽器、打楽器の紹介) ♪ロジャース: 映画『サウンド・オブ・ミュージック』より「ドレミの歌」 指揮者体験 ♪ベートーヴェン: 交響曲第5番「運命」より第1楽章</p> <p>共演 「第九」をドイツ語で歌ってみよう! ♪ベートーヴェン: 交響曲第9番「合唱付」第4楽章 共演 吹奏楽部との共演(学校任意) ♪ヴェルディ: 歌劇『アイダ』より「凱行進行曲」</p> <p>オーケストラの伴奏で学校を歌おう! ♪各校校歌 (Enc.) ♪外山雄三: 『管弦楽のためのラプソディ』より「八木節」</p>	

リンク先	No.2	【公演団体名 東京フィルハーモニー交響楽団】
出演者	<p>コンサートマスター 近藤 薫 三浦 章宏 依田 真宣</p> <p>第1ヴァイオリン 小池 彩織☆ 榎原 菜若☆ 坪井 夏美☆ 橋本 三津子☆ 平塚 佳子☆ 浅見 善之 浦田 絵里 景澤 恵子 加藤 光 巖築 朋美 坂口 正明 鈴木 左久 高田 あきの 田中 秀子 中澤 美紀 中丸 洋子 廣澤 育美 弘田 聡子 藤瀬 実沙子 松田 朋子</p> <p>第2ヴァイオリン 戸上 真里◎ 藤村 政芳◎ 水島 路◎ 宮川 正雪◎ 小島 愛子☆ 高瀬 真由子☆ 石原 千草 出原 麻智子 太田 慶 葛西 理恵 黒沢 誠登 佐藤 実江子 二宮 祐子 本堂 祐香 山代 裕子 吉田 智子 吉永 安希子 若井 須和子 渡邊 みな子</p> <p>ヴィオラ 須田 祥子◎ 須藤 三千代◎ 高平 純◎ 加藤 大輔◎ 伊藤 千絵 岡保 文子 曾和 万里子 高橋 映子 手塚 貴子 中嶋 圭輔 蛭海 たづ子 古野 敦子 村上 直子 森田 正治</p> <p>チェロ 金木 博幸◎ 服部 誠◎ 渡邊 辰紀◎ 黒川 実咲☆ 高麗 正史☆ 広田 勇樹☆ 石川 剛 大内 麻央 太田 徹 菊池 武英 佐々木 良伸 長谷川 陽子 渡邊 文月</p> <p>コントラバス 片岡 夢児◎ 黒木 岩寿◎ 小笠原 茅乃◎ 遠藤 稔一郎 岡本 義輝 小栗 亮太 熊谷 麻弥 菅原 政彦 田邊 朋美 中村 元優</p> <p>フルート 神田 勇哉◎ 齊藤 和志◎ 吉岡 アカリ◎ さかしまし 矢波 下弘 桐子 名雪 裕伸</p> <p>オーボエ 荒川 文吉◎ 加瀬 孝宏◎ 佐竹 正史◎ 杉本 真木 若林 沙弥香</p> <p>クラリネット チョ・スンホ◎ アレクサンドロ・ハヴェリ◎ 万行 千秋◎ 黒尾 文恵 林 直樹</p> <p>ファゴット チェ・ヨンジン◎ 廣幡 敦子◎ 井村 裕美 桔川 由美 森 純一</p> <p>ホルン 齋藤 雄介◎ 高橋 臣宜◎ 磯部 保彦 大東 周 木村 俊介 田場 英子 塚田 聡 豊田 万紀 山内 研自 山本 友宏</p> <p>トランペット 川田 修一◎ 野田 亮◎ 古田 俊博◎ 重井 吉彦 杉山 真彦 前田 寛人</p> <p>トロンボーン 五箇 正明◎ 中西 和泉◎ 辻 姫子◎ 石川 浩 平田 慎 山内正博</p> <p>テューバ 大塚 哲也 荻野 晋</p> <p>ティンパニ&amp;パーカッション 岡部 亮登◎ 塩田 拓郎◎ 木村 達志 鷹羽 香緒里 縄田 喜久子 船迫 優子 古谷 はるみ</p> <p>ハープ 梶 彩乃 田島 緑</p>	

リンク先	No.2	【公演団体名 東京フィルハーモニー交響楽団】
公演出演予定者数 (1公演あたり)	<p>出演者 小学校プログラム:68名 (内訳) 指揮者:1名 司会者:1名 オーケストラ:66名</p> <p>中学校プログラム:71名 (内訳) 指揮者:1名 司会者:1名 オーケストラ:69名</p> <p>スタッフ人数は、どちらのプログラムの場合も5名です。</p>	



出演

管弦楽：東京フィルハーモニー交響楽団

1911年(明治44年)創立の、長い歴史をもつオーケストラ。メンバーは約130人、交響曲やオペラの演奏のほか、NHK「らららクラシック」、テレビ朝日「題名のない音楽会」などのテレビ番組や映画音楽のコンサートなどでも演奏し、1年間に約60万人のお客様に演奏をお届けしています。いろいろな国の指揮者と共演し、日本だけでなく外国にも訪問し、国際的に活躍しています。

東京フィル 検索

指揮：円光寺 雅彦



桐朋学園大学指揮科卒業。指揮を斎藤秀雄氏、ウィーンでオトマール・スウィトナー氏に師事。東京フィル指揮者、仙台フィル常任指揮者、札幌正指揮者、名古屋フィル正指揮者を歴任。

1977年にユネスコの案議で設立された国際音楽評議会という会議で翌年の1978年から毎年10月1日を、世界の人々が音楽を通じてお互いに仲良くなる交流を深めていくために「国際音楽の日」とすることを決めた。日本では、1994年から毎年10月1日を「国際音楽の日」と定めています。

知ってあそぶ？ 10月1日は「国際音楽の日」です



Table with columns: 開催日程, 開催校, 開権校, 地元主催者. Lists various schools and organizations across Japan.

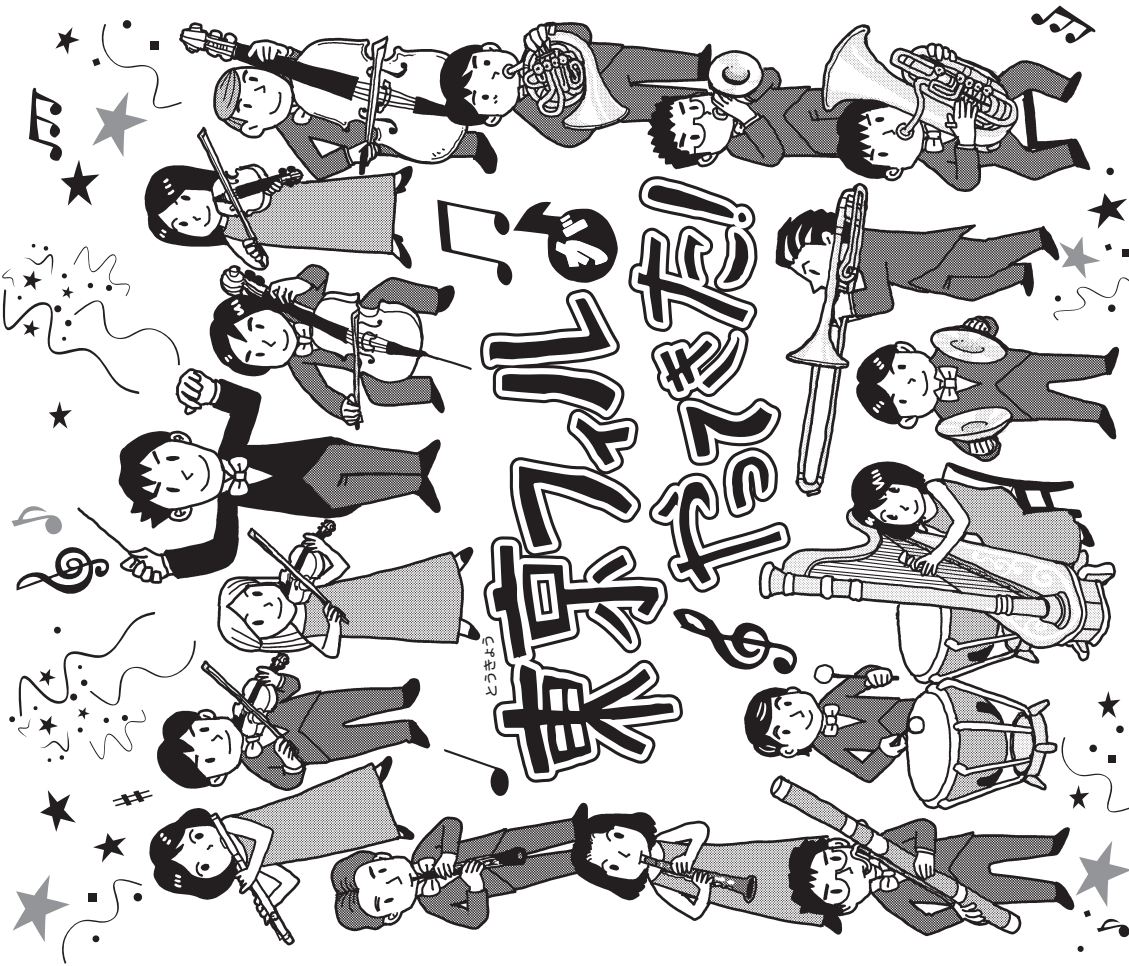
Bunkamuraオーチャードホールにて



©上野雅文



司会：塚本江里子 東京藝術大学音楽学部声楽科卒業。同大学大学院修士課程オペラ科修了。これまでに、数多くの演奏会やオペラに出演。2015年より、応募者多数の中からオーディションに合格しBSフジ「ポンキッキーズ」にて歌のおねえさんとして活動、司会やレコーディングも務める。また、言語指導士の資格を取得し、子ども言語ワークショップの講師を務める。クラシックから子ども歌まで、ジャンルを越えて活動するソプラノ歌手。特技はなわとび。



東京フィルもやってきました!

「文化芸術による子供育成総合事業—巡回公演事業—」

我が国の一流の文化芸術団体が、小学校・中学校等において公演し、子供たちが優れた舞台芸術を鑑賞する機会を得ることにより、子供たちの発想力やコミュニケーション能力の育成、将来の芸術家の育成や国民の芸術鑑賞能力の向上につなげることを目的としています。事前のワークショップでは、子供たちに実践指導文は鑑賞指導を行います。また、演奏では、できるだけ子供たちにも参加してもらいます。

# ★ 東京フィルのやってきました!

コンサートは80名のフルオーケストラ……今からとても楽しみです!



「ア〜ウ!」  
ボテイベーパーカッションで音楽に合わせてポーズ!



「ア〜ウ!」  
ボテイベーパーカッションで音楽に合わせてポーズ!



ボテイベーパーカッション、きちんと練習しておきたいと思えます!

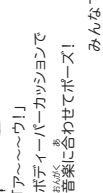
「ア〜ウ!」  
ボテイベーパーカッションで音楽に合わせてポーズ!



「ア〜ウ!」  
ボテイベーパーカッションで音楽に合わせてポーズ!



「ア〜ウ!」  
ボテイベーパーカッションで音楽に合わせてポーズ!



「ア〜ウ!」  
ボテイベーパーカッションで音楽に合わせてポーズ!



「ア〜ウ!」  
ボテイベーパーカッションで音楽に合わせてポーズ!



「ア〜ウ!」  
ボテイベーパーカッションで音楽に合わせてポーズ!



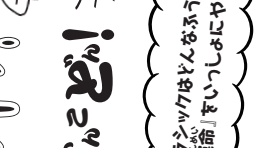
「ア〜ウ!」  
ボテイベーパーカッションで音楽に合わせてポーズ!



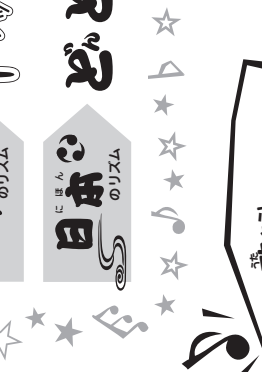
「ア〜ウ!」  
ボテイベーパーカッションで音楽に合わせてポーズ!



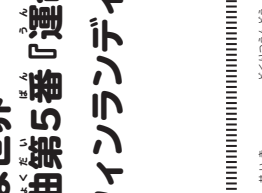
「ア〜ウ!」  
ボテイベーパーカッションで音楽に合わせてポーズ!



「ア〜ウ!」  
ボテイベーパーカッションで音楽に合わせてポーズ!



「ア〜ウ!」  
ボテイベーパーカッションで音楽に合わせてポーズ!



「ア〜ウ!」  
ボテイベーパーカッションで音楽に合わせてポーズ!



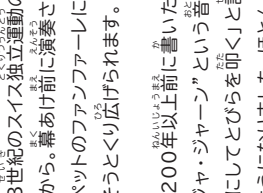
「ア〜ウ!」  
ボテイベーパーカッションで音楽に合わせてポーズ!



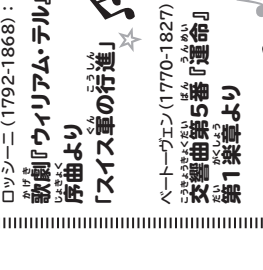
「ア〜ウ!」  
ボテイベーパーカッションで音楽に合わせてポーズ!



「ア〜ウ!」  
ボテイベーパーカッションで音楽に合わせてポーズ!



「ア〜ウ!」  
ボテイベーパーカッションで音楽に合わせてポーズ!



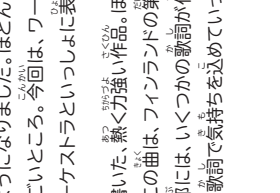
「ア〜ウ!」  
ボテイベーパーカッションで音楽に合わせてポーズ!



「ア〜ウ!」  
ボテイベーパーカッションで音楽に合わせてポーズ!



「ア〜ウ!」  
ボテイベーパーカッションで音楽に合わせてポーズ!



「ア〜ウ!」  
ボテイベーパーカッションで音楽に合わせてポーズ!



管弦楽

### 東京フィルハーモニー交響楽団

1911年(明治44年)創立の、長い歴史をもつオーケストラ。メンバーは約140人、交響曲やオペラの演奏のほか、NHK「らららクラシック」、テレビ朝日「題名のない音楽会」などのテレビ番組や映画音楽のコンサートなどでも演奏し、1年間に約60万人のお客様に演奏をお届けしています。いろいろな国の指揮者と共演し、日本だけでなく外国にも訪問し、国際的に活躍しています。

東京フィル 検索

©上野隆文



指揮



©大杉雄平

### 三ツ橋 敬子

東京藝術大学及び同大学院修了。第10回A、ベドロツァイ国際指揮者コンクールにて日本人として初めて優勝。第9回Aトスカニーニ国際指揮者コンクールにて女性初の受賞者として準優勝。2009年Newsweek Japan誌にて「世界が尊敬する日本人100人」に選出。2011年には、TBS系列ドキュメンタリー番組「情熱大陸」に取り上げられた。



### 塚本江里子

東京藝術大学音楽学部声楽科、同大学院オペラ科修了。これまでに数多くの演委会やオペラ、ミュージカルに出演。ワークショップリーダーとして音楽ワークショップの制作にも携わる。2015年よりBSフジ「ボンキーズ」にて歌のおねえさんとして出演、司会やナレーションも務める。また、論語指導士の資格を取得し子ども論語ワークショップを開催。ジャンルを越えて活動し、子どもたちに音楽の楽しさと学ぶ喜びを伝えている。

司会

### 知って下さるか?

10月1日は「国際音楽の日」です



1977年にユネスコの要請で設立された国際音楽評議会という会議で、翌年の1978年から毎年10月1日を、世界の人々が音楽を通じてお互いに仲良くなり交流を深めていくために「国際音楽の日」とすることをしました。日本では、1994年から毎年10月1日を「国際音楽の日」と定めています。

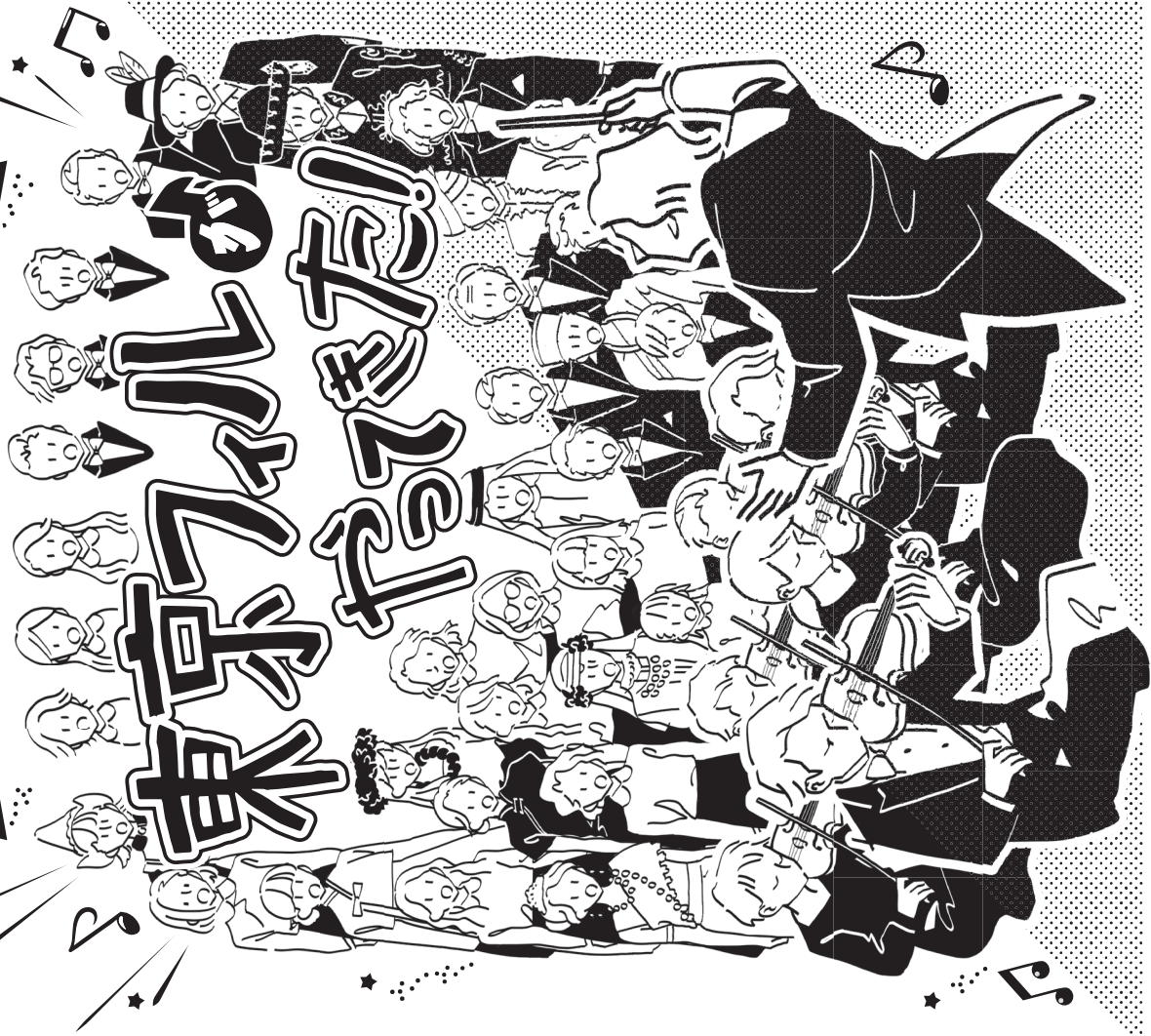
開催日程

9月2日(水)  
9月3日(木)

開催校

鹿角市立花輪中学校  
一関市立室根中学校

令和2年度 文化芸術による子供育成総合事業 一巡回公演事業—  
東京フィルハーモニー交響楽団 オーケストラ公演



# 東京フィルが来ました!

「文化芸術による子供育成総合事業—巡回公演事業—」

我が国の一流の文化芸術団体が、小学校、中学校等において公演し、子供たちが優れた舞台芸術を鑑賞する機会を得ることにより、子供たちの発想力やコミュニケーション能力の育成、将来の芸術家の育成や国民の芸術鑑賞能力の向上につなげることを目的としています。事前のワークショップでは、子供たちに実演指導又は鑑賞指導を行います。また、実演では、できるだけ子供たちにも参加してもらいます。



文化庁  
Agency for Cultural Affairs  
Government of Japan





今日、いよいよ本番です!



また、本公演でもあかね! 歌の練習頑張ってるね!



(鹿角市立十和田中学校)



打楽器奏者は色々な楽器を演奏します。ワークショップでは音楽室の楽器を借りました!



管楽器代表「ホルン」。奥深い音色にうっとりです!



弦楽器代表「ヴァイオリン」。音の出る仕組みを学びます。



ワークショップ、オープニングの様子。少ない人数で迫力ある演奏に釘付け!

一月一日のワークショップからみんな準備してきました

## プログラム Program

▶ オープニング

♩ ロッシーニ 歌劇『ヴァリアム・テル』序曲より  
「スイス軍の行進」

▶ 楽器紹介

♩ ロジャース 『サウンド・オブ・ミュージック』より  
ドレミの歌

▶ 指揮体験

♩ ハートヴエン 交響曲第5番『運命』  
第1楽章より

▶ オークストラで身体を動かしてみよう!

藤山一郎 新しい朝が来た  
服部正 ラジオ体操第一

▶ 「第九」を歌おう!

♩ ハートヴエン 交響曲第9番『合唱付き』  
第4楽章より

各校校歌の演奏

♩ ヴェルディ 歌劇『アイーダ』より「凱旋行進曲」

曲について

## Program Notes

解説=柴田克彦

## 第九について About Beethoven's Symphony No. 9

解説=鉢村 優

「第九」が日本で初めて全曲演奏されたのは第一次世界大戦中、徳島県にあるドイツ人捕虜収容所でのこと。また、第二次世界大戦後、東西に分断されていたドイツが統一された際にも「第九」は演奏されました。かつて敵としていがみ合った人々々が声を合わせて歌い、共に耳を傾けることで、同じ地球に生きる仲間として認めあったのです。このように「第九」は、バラバラになった人々の心をつなぎ、平和を願う音楽として歌い継がれてきました。人種も、生まれも、考え方も関係なく、友愛に満ちた世界を作ろう! 「第九」は今も私たちにそう呼びかけています。



シヨアキーノ・ロッシーニ (1792-1868)  
歌劇『ヴァリアム・テル』序曲より「スイス軍の行進」

イタリアの作曲家ロッシーニが、13世紀のスイス独立運動のヒーロー、ヴァリアム・テルの活躍を描いたオペラから。幕あけ前に演奏される「序曲」の最後に流れる有名な音楽です。トランペットのファンファーレに始まり、馬に乗って駆けていくような行進曲が、ささやくと繰り広げられます。



ルートヴィヒ・ヴァン・ベートーヴェン (1770-1827)  
交響曲第9番『合唱付き』第4楽章

ドイツの作曲家ベートーヴェンが1824年に完成したこの曲は、オーケストラ音楽だった交響曲に歌を取り入れたユニークな作品。「苦しみから喜びへ」というテーマが大きなスケールで描かれています。声楽が加わる第4楽章は、「人間愛による平和」を歌った有名な部分。メインの旋律は「喜びの歌」の名で親しまれています。



ジュゼッパ・ヴェルディ (1813-1901)  
歌劇『アイーダ』より「凱旋行進曲」

イタリアを代表するオペラの作曲家ヴェルディが約150年前に書いた悲劇からの1曲。エチオピア軍を破って国に戻って来たエジプトの將軍ラダメスらが皆を迎えらるる、華やかな場面の音楽です。トランペットに導かれて一行が歩みを進めるこのダイナミックな行進曲は、スポーツなどのイベントでもおなじみになっています。